

Mirai研レポート

国際的な教育プログラムを研究する高校

中間報告会 (8/5)

「未来の学校」計6校を2つに分け、3校ずつZoomで行いました。本校は須坂高校、野沢北高校と一緒にグループに入り各校30分間報告や質疑応答しました。

【発表概要】

1. 目標と取組概要
 - (1) 構想と目標
 - (2) 3つのプロジェクトと令和3年度の目標
2. 今年度(2021年度)の進捗状況
 - (1) F-教育課程
 - (2) F-進路指導
 - (3) F-学習指導
 - (4) その他
3. 当面の課題
 - (1) 生徒の関わり
 - (2) 教員集団の関わり

【頂いた感想・アドバイス概要】

- ・IBのカリキュラムの中から、指導案以外にも論文やエッセイの書き方なども取り入れてみてはどうか。
- ・IBの授業中に学ぶプレゼンの仕方やインタビューの仕方でも取り入れることができるかもしれない。
- ・海外進学についてマレーシアなどのアジアはもちろんヨーロッパにも目を向けてみてはどうか。オランダ、ドイツなど医学部でも100万円程度で学べる所もある。
- ・新科目について、他校がリモート参加できるようなアイデアがあってもよい。
- ・他校へどう発信していくか。
- ・ルーブリックの実践を継続して行ってよい。生徒のモチベーションをあげるには評価につなげる事も考えてみてはどうか。
- ・公立高校は異動があるので、2学期の授業実践等の記録をしっかり残し、次の先生につなげるようにする工夫が大切になる。
- ・Mirai研レポートを生徒に見せるなどして、Mirai研の活動に生徒をいかに巻き込んでいくか。

委員会の今後の予定

- ・令和4年度予算請求 8月末
- ・実践準備 8月～10月
※早め早めの計画をお願いします。
- ・実践 9月～11月
- ・視察 9月以降
※状況を見ながら声をかけさせていただきます。
- ・最終報告 3月



(1) 構想と目標

構想

「国際的な教育プログラムを研究し、その長所を生かしたカリキュラムや指導法を開発する」
「他校にも開かれた海外大学進学プログラムを構築する。」



目標

F-スタイル

本校に関わる全ての活動の土台となるもの

「3つの方針」「グランドデザイン」の目指す学習者像(豊かな人間性と高い教養を持ち、他者と協働し、主体的に将来を切り拓く力と、地域・社会を牽引する資質を持った人物)を育てるためのプログラム

(1) F-教育課程

- ・新学習指導要領の目指す資質・能力の育成
- ・飯田風越高校の生徒育成方針をいかに教育活動全般に落とし込むのか
- ・研究指定校としての任務
- ・知識つめ込み型教育の問い直し

「目指す学習者像の実現のための概念学習」をお手本に飯田風越バージョンにアレンジした授業実践を行うために・・・

将来的には、行事やクラブ活動等、すべての教育活動での活用を目指す

「教科ごとの学習内容」ではなく、「飯田風越高校の目指す学習者像」が出发点になるような授業

| 単元 | 学習内容 | 評価 |
|----|---------------------------|---------------------------|
| 英語 | 英語のコミュニケーション能力を育成する | 英語のコミュニケーション能力を育成する |
| 数学 | 数学の基礎的な知識・技能を育成する | 数学の基礎的な知識・技能を育成する |
| 理科 | 理科の基礎的な知識・技能を育成する | 理科の基礎的な知識・技能を育成する |
| 社会 | 社会の基礎的な知識・技能を育成する | 社会の基礎的な知識・技能を育成する |
| 総合 | 総合的な学習の時間を活用し、学習者像の実現を目指す | 総合的な学習の時間を活用し、学習者像の実現を目指す |

プレゼン資料より一部抜粋

『国際的な教育プログラムを研究する高校』

県立高校「未来の学校」実践校に指定されました(令和2～6年)

国際的な教育プログラムについて研究し、国際社会で活躍できる資質・能力を育成する教育課程を開発するとともに、海外大学進学希望者のためのプログラムを構築することを目標にしています。

- ・国際社会で活躍できる資質や能力の育成
- ・新たな時代における「生徒につけたい力」の明確化
- ・新たな学びの指導・評価方法の開発と共有
- ・海外進学支援体制等、幅広い進路選択への対応

